

令和7年度 指定管理者の管理運営に対する評価シート

		施設番号		6
部	総合政策部	課	文化振興課	

1. 指定概要

施設概要	名称	近江八幡市立安土文芸の郷公園		建設年	平成 6 年（大規模修繕 年）					
	所在地	近江八幡市安土町桑実寺 7 7 7 番地ほか		利用対象	全市 地域					
	設置目的	①市民の文化、芸術の向上を図る。 ②文化を振興し、国内外との交流の輪を広げること。 ③創造的文化活動と生涯教育の推進を図ること。 ④観光及び地場産業の振興を図る。 ⑤体育の振興及び健康の増進を図る。 ⑥市民の年齢、体力に応じた運動機能訓練の場の提供と健康増進を図る。 ⑦高齢者から子どもまで多世代の市民がふれあい、集うことにより、地域交流を図る。								
	規模	敷地面積 116,000㎡、延べ床面積 7,045.74㎡（文芸セミナリヨ：1,938㎡/地上2階、あづちマリエート：3,733㎡/地上2階、安土城天主信長の館：785㎡/地上2階、文芸の郷レストラン：220㎡、文芸の郷練習場：224㎡、多世代交流館：145.74㎡）								
	指定管理開始年度	平成 1 8 年								
指定管理者	名称	公益財団法人 安土町文芸の郷振興事業団								
	所在地	近江八幡市安土町桑実寺 7 7 7 番地								
指定管理業務の内容		①施設又は設備（以下「設備等」という。）の使用及び使用の許可等に関する業務 ②施設等の維持管理に関する業務 ③施設等の利用に関する料金の徴収等に関する業務 ④文化、芸術の振興をはかるための事業 ⑤体育の振興及び健康の増進をはかるための事業 ⑥安土文化の振興普及に関する事業								
指定期間		令和 5 年 4 月 1 日 ～ 令和 8 年 3 月 3 1 日 （3 年間）								
指定管理料		令和 4 年度：44,503千円		令和 5 年度：46,223千円		令和 6 年度：46,223千円		令和 7 年度：46,223千円		
利用料金制		採用している			選定方式		公募		応募者数	1

2. 施設の設置目的の達成に関する取り組み【有効性】

		目標と具体的な取り組み(計画)	令和7年度実績	所管課による検証
施設設置の目的達成状況	施設の維持管理業務	(目標) 安心安全で快適に利用できるよう施設の維持管理を行う ①保守点検業務 - 施設等の適切な日常点検、法定点検、定期点検、検査等により施設等の維持に必要な保守管理を行い利用するのに支障のない状態に維持する。 ②清掃業務 - 日常清掃(日単位での通年清掃)、定期清掃(ガラス清掃や不定期な清掃など月単位の清掃)、特別清掃(ワックスかけ等年単位の清掃)の実施により埃、ごみ、汚れのない清潔な施設を維持する。 ③修繕業務 - 施設の利用に支障のないよう適切な修繕業務を行う。ただし、修繕内容に応じて市と指定管理者が協議のうえ実施する。また、1件100万以上の工事については市の対応により行う。 ④施設周辺の保全業務 - 施設周辺の樹木植栽及び植栽地内の美観保持、剪定、除草、害虫駆除等地域への防犯協力も含めた保全業務を行う。 ⑤備品管理業務 - 施設内備品の日常管理・点検を行い適切な管理を行う。 - 各種消耗品の補充を適宜行う。	①保守点検業務 - 機械警備、法定点検を含む設備点検等一部委託により実施。その他日常点検については、マニュアルやチェックシートにより実施し、施設の維持に必要な保守管理を行った。 ②清掃業務 - 床面洗浄ワックス、ガラスクリーニング(高所含む)、じゅうたん洗浄など一部委託により実施、日常清掃についてはマニュアル、チェックシートにより実施し快適な施設の維持管理を行った。 ③修繕業務 - 文芸の郷レストランの空調室外機修繕や新紙幣対応工事、文芸セミナリヨ・安土城天主信長の館・文芸の郷練習場の消防用設備等点検不備箇所修繕など12件2,049,927円分の修繕を行った。 ④施設周辺の保全業務 - 巡回による点検を実施し利用者の安全確保と清潔な環境の確保に努めた。 ⑤備品管理業務 - 施設内備品の日常管理・点検を行い、業務を行うにあたり必要最低限の備品を購入した。 - 消毒液やトイレットペーパーなどの各種消耗品の補充を行った。	(よかったと評価できる事項) 保守点検や清掃を徹底することで、利用者が安全安心、快適に利用できるよう施設管理ができていた。 施設の利用に支障がないように適宜、修繕対応を行っている。 公園内の植栽をはじめ、施設全体の美観と良好な景観形成が図られている。 (改善を要した事項と対応) 特になし (課題) 修繕費の予算が200万円計上されているため、細かな修理・修繕等を計画的にお願いしたい。
	(施設の運営向上策)	(目標) 利用者の満足度を高めるサービスの提供 ①施設及び設備の使用の許可と料金徴収に関する業務 - 公平で適正な施設の貸出業務と適正な料金の徴収を実施する。 ②利用者の安全対策に関する業務 - 利用者の安全を確保するための対策や体制を整備する。 ③設置目的達成に資するための業務 - 市民の文化的健康的な生活の向上に寄与できる事業展開の実施。 - 公益性を念頭におき利用者が満足し期待感の持てる運営の実施。 ④サービスの向上に関する業務 - マーケティング機能を強化し利用者の満足度を把握分析し改善を図る。 - 施設を清潔に保ち創意工夫により利用者の利便性を向上させる。 - 各種トラブル、苦情に迅速かつ適切に対応する。	①施設及び設備の使用の許可と料金徴収に関する業務 - 使用料等は各条例・規則や協定の定める範囲内で、事前に承認済の料金で適正に徴収した。 ②利用者の安全対策に関する業務 - 事故や災害時に備えたマニュアル作成や、緊急時に備えた訓練を実施した。 ③設置目的達成に資するための業務 - 市民ニーズの多様性に応え、生涯を通して文化芸術に触れる機会を提供できる事業や健康増進につながる事業を展開した。 - 滋賀県公立文化施設協議会に参画し、関係機関と情報の交換を図るとともに、文化施設における技術研修等を行い、資質の向上を図った。 - 安土観光団体ネットワーク会議に参画し、地域の催しや観光情報の交換を行い、ともに観光振興に取り組んだ。 ④サービス向上に関する業務 - 毎週水曜日に全職員で朝礼を行い、互いのサービスについて確認と意識の高揚を図った。 - セミナリヨでの各種コンサートやマリエートでの各種事業でアンケート調査を行い、参加者のニーズや意見を把握分析し、次の事業展開に活かした。 - マリエートでは体育振興に係る健康増進事業を検証するために外部委員による検証委員会を設置した。 - 各施設の迅速な修繕などにより、利用者の安全等を図った。 - 万が一の地震や火災等に備え、被害が最小限となるよう、2回の避難訓練、防災訓練を実施した。 - レストランでは、衛生管理計画に基づき職員の毎日の健康管理を行い、食中毒への対策と自己意識の向上に努めた。 - 安全管理については、担当職員が見まわるとともに、施設設備については定期点検を行い安全確保に努めた。	(よかったと評価できる事項) 市民の文化的健康的な生活の向上に寄与する事業展開が実施されており、利用者数が増加している。 (改善を要した事項と対応) 特になし (課題) 特になし

		（目標）生涯を通して文化芸術に触れていただける事業の開催 ①文芸セナリヨ ・パイプオルガンを活かした個性的な事業実施と地域密着型のホールを目指す。 ・地域に即した自主事業実施による収入増と経費節減を図る。 ・県内外の施設との連携や音楽団体とのタイアップなど地域活性化を図る。 ②スポーツ施設 ・住民の健康、体力づくりと在宅親子がのびのびと活動できる機会として親しまれる施設づくりを目指す ③文芸の郷レストラン ・地域食材を中心としたメニュー提供と宣伝強化に努め集客力アップを図る。 ④安土城天主信長の館 ・館内展示物の保存管理に努め、有効利用する。 ・地域の子どもたちに安土の歴史を視覚的に体験し学習できる場の提供。 ・観光客やメディアへの対応など知名度アップと集客の取組みの実施 ・VR安土城シアターの周知を図り積極的に取り入れた自主事業を実施する。 ⑤公園、多世代交流館 ・園内にゴミ箱を設置せずごみの持ち帰りを徹底し、環境美化に努める。 ・多世代交流館は、開館とし効率的な運営に努める。	①文芸セナリヨ ・文化芸術、健康増進の発信拠点として、22の事業を開催した。 ・コンサート事業では、音楽になじみのない方でも参加しやすい内容のクラシックコンサートを開催しました。 ・はつらつコンサート・ワンコインコンサートの低料金で入場できるコンサートを開催した。 ・オルガン見学会やオルガン教室を実施した。 ②スポーツ施設 ・市内外を対象に幅広い年齢層の方が気軽に利用できる事業として、エクササイズ＆ヨガ教室、シニア健康教室、キッズダンス教室を実施した。 ③文芸の郷レストラン ・文芸の郷利用者をはじめ観光客向けのチラシの配布やのぼり旗の設置、HPやInstagramなどでも積極的に情報発信した。 ④安土城天主信長の館 ・信長の館をはじめ、関係観光施設を廻る重ね押しスタンプラリーを行い集客に努めた。 ・復元安土城天主及びVR安土城の価値と魅力を引き出す学習会を開催した。 ・VR安土城の映像と操作を用いた事業として、「タイムスリップツアー」と「夏休みこども歴史塾」を開催した。 ・滞在時間を延ばし展示物の関心を高める事業として「のぶながピンゴ」を実施した。 ・大人の方などにも楽しんでいただけるよう「クロスワードクイズ」を実施した。 ⑤公園、多世代交流館 ・スペイン広場では、観光客をはじめ地域住民の方に広く開放し、特に天気の良い日には、憩いの場として家族連れの方など多くの方に利用していただいている。 ・多世代交流館は、原則土日祝日開館で12月～2月休館であるが、4,957名の子供たちにメリーゴーランドを利用してもらい、家族の交流の場として寄与した。	（よかったと評価できる事項） 幅広い世代の方が気軽に音楽に触れる機会を提供し、市民の文化意識の向上に寄与した。市民のニーズにあった健康増進事業を展開することができた。施設の特性を活かした事業を実施し、多くの市民に楽しんでもらうことができた。
				（改善を要した事項と対応） 特になし
				（課題） 安土城築城450年の企画に向け、各団体と協力・連携を図りながら対応をお願いしたい。

施設設置の目的達成状況	(施設利用状況 利用促進策)	・文芸の郷の施設や事業の取り組みの周知に努める。 ・文芸セナリヨでは、ホールの優れた音響効果の魅力を存分に体感できる「生音」(アコースティック)を基本とした事業展開をし、だれもが気軽に本物の芸術に触れられる機会を提供する。 ・安土城天主信長の館では、タイムスリップ感覚で安土城の魅力をCG映像で体験できるVR設備の活用および、現代の名工にて復元された安土城天主希少価値を効果的に活かしつつ、地域の歴史文化を広く発信していける事業展開を行う。 ・あづちマリエート他のスポーツ施設では、第3者委員会を設置し、事業効果の検証や改善点などのアドバイスをいただきながら、人々が健康に充実した生活を送れるように、健康増進事業の実施と啓発を行う。 ・多世代交流館およびレストランの利用促進や、公共の場として人々が集えるよう安全安心な施設管理を第一として、周辺の自然や歴史色豊かな景観を保持し、環境に配慮した心安らぐ憩いの場を提供する。	・年間コンサート情報や施設案内のチラシを県内ホール、図書館などの公共施設へ配布した。 ・ホームページをはじめ、Instagramのアカウントを文芸セナリヨと安土城天主信長の館に設定し、積極的な情報発信に努めた。 ・施設と事業の案内を掲載したチラシを市内と近隣市町へ新聞折込6万6千部配布した。 ・近江八幡観光物産協会等と安土観光共同作成案内を作成し配布した。 ・文芸の郷友の会の会員を募り、関連情報の周知を図り、利用者の増加を図った。 ・事業の案内として、FMラジオでの宣伝広告や報道機関などへの情報提供を積極的に行った。 ◆公益目的事業◆ ・音楽専門のコンサートホールとして優れた音響環境を持ち、県内の公共ホールで唯一のパイプオルガンおよび世界三大ピアノメーカーの一つであるベーゼンドルファー社製のピアノを保有し、その特徴を活かし「生の音」を重視した催しを行い、セナリヨ全体では年間22事業を実施しました。 ・地域密着型ホールの実現に努め、「鑑賞」「普及啓発」「参加育成」「参加型創造」等バランスのとれた事業を展開した。 ・安土城天主信長の館では、現在の名工が復元した安土城天主とバーチャルリアリティ映像としてCGの世界で再現されたVR安土城を、有意義に活用し、地域の文化を中心に全国に発信し歴史文化振興に寄与した。 ・大河ドラマの影響も相まって、織田信長やその時代背景を含め時代の流れの変革期に重要な役割を担った地域として、歴史に関連した伝統文化の学びの場を提供した。 ・スポーツ施設では、多世代にわたって市民や周辺地域の人々が気軽に参加できる健康教室等の事業を、検証と改善を繰り返し創意工夫しながら実施することにおいて、各年代層の健康増進に寄与した。 ・貸館事業として、利用者の視点で平等で利便性が良く安全安心に利用していただけるよう管理調整に努めた。 ・あづちマリエートにあっては、令和7年度は、「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ2025」が滋賀県で開催され、公開競技の綱引と少年男子ハンドボール協議のメイン会場として使用されました。 ・施設を訪れた方々が芸術や文化に触れ、健康づくりの場として快適に過ごすことができるよう、また、興味や向学心を呼び起こすにふさわしい機会を提供できる接客に努めた。 ◆収益目的事業◆ ・レストランでは、地場産の新鮮な食材を使用したメニューにより、お客様に美味しく食していただいた。また、収益性への考慮やサービス、衛生面に重きをおき安全安心な食の提供を行った。 ・安土城天主信長の館においては、歴史的背景豊かな特色のあるお土産品を販売し、地域に関わる歴史の伝承や観光に貢献するとともに売上の増加を目指した。また、テレビや書籍等のメディア取材についても、積極的に対応するとともに、予算の範囲内で広告掲載などのPR活動も行った。 ・施設管理では主にグラウンド及びテニスコートの貸出等において、国スポ障スポの関係で秋の利用が減少したが、個人利用者のみならず、学校、地域サークル等の団体が継続して安全に使用でき公平性のある運営管理を目指した。	(よかったと評価できる事項) ニーズを把握した事業実施より、友の会会員の増加に繋げることができた。 様々な方法で情報発信を行い、施設の利用促進に努めた。 あづちマリエートを「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ2025」公開競技の綱引と少年男子ハンドボール協議のメイン会場として無事に活用された。
			(改善を要した事項と対応) 特になし	
			(課題) 引き続き、魅力的な事業を展開し、利用者の増加へ向け努めてもらいたい。	

3. 効率性の向上に関する取り組み【効率性】

	前年度実績	令和7年度実績	(よかったと評価できる事項)
収支状況	【収入】	【収入】	増収を図ることができた。また、人件費や物価高騰の影響を受けながらも経費削減に努めた。
	利用料金等収入 37,939,152円	利用料金等収入 41,404,235円	
	売店・飲食収入 10,409,315円	売店・飲食収入 12,414,845円	
	事業収入 7,359,050円	事業収入 5,481,250円	(改善を要した事項と対応)
	指定管理料 46,223,000円	指定管理料 46,223,000円	特になし
	補助金等 50,000円	補助金等 0円	
	収入合計 101,980,517円	収入合計 105,523,330円	
	【支出】	【支出】	(課題)
	人件費 56,758,731円	人件費 58,795,842円	今後も原材料価格やエネルギーコスト等の上昇が見込まれるため、収入増の方策や、経費削減のための業務効率化を検討する必要がある。
	事務費 38,532,682円	事務費 37,400,985円	
管理費 10,224,240円	管理費 12,522,710円		
支出合計 105,515,653円	支出合計 108,719,537円		

4. 利用者の満足度調査等【有効性】

実施内容・時期	セminariヨでの各種コンサートやマリエートでの各種事業でアンケート調査を実施。特にマリエートでは外部委員による検証委員会を設置し、体育振興に係る健康増進事業を検証した。
評価頂いている内容	はつらつコンサートやワンコインコンサートにあっては、安価（５００円）にて音響環境が整った本格的な音楽専用ホールで生音のコンサートが鑑賞でき、ワンコインコンサートにあっては乳幼児の同伴が可能であり、事業継続を望む声が多い。
苦情・意見等	なし

6. 指定管理者の自己評価コメント

安土文芸の郷公園の指定管理は令和8年度から5年間の公募となり、実績ある別の業者1社との競合の結果、引き続き当事業団が管理運営を担うこととなりました。当事業団は、公益財団法人と指定管理者という2つの立場があり、運営上非常に複雑であること、またレストランなどにおいては求人をかけて人が集まらず苦慮しているところです。指定管理の5年間、様々な問題もあるが、近江八幡の文化振興の拠点の一つとして、貢献できるよう努めてまいります。
--

5. 指定管理業務に関して、指定管理者から市への要望

・施設の管理運営をしていく上で、電気料金、灯油やLPガスをはじめとする燃料費、食材、各種需要品の価格が高騰しており、各種利用者からの手数料の増額、減免額の適正・明確な金銭的な補助ついてを考慮していただくようお願いいたします ・安土文芸の郷公園が開設して以来32年が経過し、長寿命化事業により施設等の改修等がありましたが、照明のLED化、セminariヨの音響・照明機器については当初のまま更新されておられません。ついては、施設における設備等の老朽化が進んできていることから、施設利用者が安心・安全かつ快適に使用していただけるよう、早急な改修をお願いします。 ・あづちマリエートについては、舞台の照明について正常に点灯しない状況です。緞帳の更新撤去等も含め適正に活用できるよう改修をお願いします。
--

7. 所属の総括コメント

施設の特性を活かした事業展開を行い、多世代にわたる市民の文化芸術の向上、文化活動と生涯教育の推進、体育の振興および健康の増進に寄与された。令和7年度は「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ2025」が滋賀県で開催され、公開競技の綱引と少年男子ハンドボール協議のメイン会場として使用され、地域の文化・芸術・スポーツの中核施設として市内外にアピールすることができた。引き続き、施設の設置目的に沿った事業を実施し、利用者の満足度向上に繋げていきたい。
収支決算においては、光熱費や物価高騰、最低賃金引き上げによる人件費の増額などがある一方で、利用者数の増加に伴う利用料の増収や販売収入の増加により、経常利益は黒字とすることができている。今後も収益増の方策と経費削減の双方から費用対効果を検討していただきたい。